

# 舌下免疫療法について

とちの樹メディカルクリニックで行う舌下免疫療法について詳しく説明していきます。  
舌下免疫療法を希望される方は、**まず下記の案内をご一読の上、受診して下さい。**

## どんな治療法？

アレルギーの原因となるスギやダニが配合された治療薬を「舌の下」にしばらく含んでから飲み込んで、毎日少しずつ免疫を作っていくアレルギー免疫療法の一つです。

当院ではスギ花粉症(薬品名「シダキュア」)とダニ抗原によるアレルギー性鼻炎(薬品名「ミティキュア」)を取り扱っています。スギ、ダニ両方の治療を、時期をずらしてスタートさせることで並行して行うことも可能です。

## 舌下免疫療法でスギ花粉症やダニアレルギーは治るの？

臨床試験の結果では、およそ 80%の方に効果がありました。うち、およそ 20%の方は症状が出なくなりました。残りのおよそ 60%の方は症状が改善しました。免疫を作る治療法ですので、根治が期待できます。

スギ花粉の多く飛散する時期は、抗ヒスタミン剤などの従来の治療を併用することも出来ます。症状が減ることにより今までよりお薬を減らせる方もいらっしゃいます。

## どうやって舌下免疫療法を行うの？

### ◆ はじめの 1~7 日目

薬は、1 日 1 回、舌の下に 1 分間保持した後、飲み込みます。その後 5 分間はうがい、飲食を控えてください。味は無味無臭からわずかに甘味を感じる方もいます。治療を行いにくい味ではありません。

なお、こうした基本的な投与のやり方は、その後もずっと変わりません。

はじめの 1~7 日目は、アレルギーの量が少ない薬を投与します。

1回目の舌下投与は医療機関で行ない、30分の経過観察も必要です(要予約)。

#### ◆ 次の8～14日目

投与するアレルゲンの量を増やして、体を慣れさせていきます。

8日目の増量をするタイミングで受診して頂きます(要予約)。

#### ◆ 次は22日目

もう一度受診をして頂き、副作用が無く安全に出来ているかを確認します(要予約)。

#### ◆ その後

月に1回の通院が必要です。これを**3～5年間継続**します。

1日目	8日目	22日目	～以後1か月に1回受診～	
アレルゲンの少ない量を舌下	アレルゲンの量を増やして舌下	維持量のアレルゲンを舌下	維持量のアレルゲンを舌下	維持量のアレルゲンを舌下
↑受診	↑受診	↑受診	↑受診	↑受診

安全に治療を行なうために、スギ花粉の飛散する時期に舌下免疫療法は開始出来ません。12月から5月は治療を開始出来ない時期と考えて下さい。また、スギ花粉の飛散が始まる3ヶ月以上前から治療を開始すると効果的です。当院では**スギ花粉の舌下免疫療法は6月から11月中旬までに治療開始**とします。この時期を過ぎた場合は、翌年6月まで待ついただきます。

なお、ダニアレルギーについては、治療開始時期の制限はありません。

## 副作用はあるの？

舌下免疫療法は副作用(アレルギー反応)を引き起こすことがあります。

多くの方で副反応はありますが、おおむね普段通りに過ごせます。

アレルゲンを投与するので軽度の局所(主に口周囲)の副反応が発現するのは、ある程度、当然であると考えます。しかし、中断することなく舌下を続けることで、1週間以内に消失、または軽快することがほとんどです。

軽度の副反応では、

- ・口の中や唇のかゆみ、舌のむくみ
- ・じんましん

・嘔吐や腹痛、下痢

・耳のかゆみ

・のどの違和感

などが起こることがあります。

また、きわめてまれですが、**重大な副作用**として

・アナフィラキシーショック

が起こる可能性があります。

アナフィラキシーに備え、3つの注意すべき点を挙げます。

1. もしもショック症状が出るならこんな時

- 薬を飲んだ直後から30分の間
- 舌下免疫を始めたばかりの時から、およそ1か月の間
- アレルギーの原因物質(スギ花粉、ダニ)が大量に飛散している時

2. 次のような場合(アナフィラキシーの疑いがある場合)は、迷わずに救急車を呼んで下さい

- 脈拍が速くなる(頻脈)
- 脈拍が不規則になる(不整脈)
- 気が遠くなる(血圧低下)
- 意識が混濁する(神経症状)

3. 次のような症状は、ショック症状の前兆の可能性があります

- 皮膚の症状(じんま疹、掻痒感、紅斑、皮膚の発赤などの全身的な皮膚症状)  
舌下後、数分から通常は30分以内に起こり、初発症状のことが多い。
- 呼吸器の症状(声がかれる、喉の掻痒感、胸のしめつけ感、咳、呼吸困難、呼吸の音がゼーゼー・ヒューヒューする、チアノーゼなど)
- 消化器の症状(持続する胃痛、持続する嘔吐など)
- 循環器の症状(頻脈、不整脈、血圧低下など)
- 眼の症状(視覚異常、視野の狭窄など)
- 神経の症状(不安、恐怖感、意識の混濁など)

## 舌下免疫療法が受けられない方、注意が必要な方

《受けられない方》

- 対象のアレルギー(スギ花粉症、ダニ)ではない方
- アレルゲンを使った治療や検査によってアレルギー症状をおこしたことがある方
- **重症の気管支喘息**の方

- 悪性腫瘍(がん)や免疫系の病気がある方
- 重症の心疾患、肺疾患及び高血圧症がある方
- 舌下免疫療法に差し支えのあるお薬を服用中の方(非選択的  $\beta$  遮断薬、三環系抗うつ薬、モノアミンオキシダーゼ阻害薬<MAOI など>)
- **全身性ステロイド薬の投与**を受けている方
- 妊婦の方、授乳中の方、近い将来に妊娠を希望される方
- **舌下前後 2 時間の激しい運動・入浴・飲酒禁止を守れない方**(舌下免疫療法の薬の注意点として、「服薬の前後 2 時間ほどは激しい運動・入浴・飲酒が禁止」となっています。)

#### 《注意が必要な方》

- 気管支喘息の方(当院では少なくとも 1 年以上発作がなく、コントロール良好な方のみ)を舌下免疫療法の適応とします。)
- 65 歳以上の方
- 小児の方(治療には採血による検査が必要ですので、当院では採血が暴れずに出来る、おおむね 8 歳以上のお子様で、舌下免疫療法を行うにあたり保護者の方が協力・管理出来るお子様が適応となります。)
- 抜歯後や口の中の術後、または口の中に傷や炎症などがある方
- 対象以外のアレルギーに対しても反応性が高い方

## 診察・治療の流れ

- ① こちらの案内をご一読の上、通常の診察を受けていただき、治療が可能かどうかの確認を行います。**問診、診察、採血、お薬手帳の確認などを行います**ので、お薬手帳も忘れずにご持参下さい。あわせて、次回の診療日(結果説明とアレルギーの初回投与を行う日)を決めます。
- ② 当院にてアレルギーの**初回投与(要予約)**を行います。  
投与の後は、**約 30 分間、当院で経過を見ます**。  
この日は、詳細な説明、舌下免疫療法を受ける同意書の記入もあり、受付から会計終了まで 1 時間から 1 時間半ほどお時間を頂きます。
- ③ 舌下免疫療法の導入後、**8 日目(要予約)、22 日目(要予約)に来院**して頂き、副作用が無く安全に出来ているかを確認します。

- ④ その後は**月に1回の通院が必要**です。1ヵ月以上の長期の投薬は原則致しません。
- ⑤ 舌下免疫療法は3～5年行えば、治療を止めても効果が長く持続すると考えられています。当院では、舌下免疫療法を**4～5年行うことを勧めています**。舌下免疫療法は、全員に効くものではありません。効かない方もいます。また、数年で効果が高まりますので、まずは2年を目途に開始し、効果のある方には4～5年の継続をお勧めします。4～5年継続すると治療終了しても効果は持続すると考えられています。
- 終了して何年も経過すると、また、鼻炎症状が悪くなる方が出てきます。その場合には、その時点で再度1～2年間の舌下免疫療法を行うと、効果が元に戻ると考えられます。

## 費用について

医院での治療費と薬局での舌下免疫療法のお薬代で、最初の2回は2,000円程度(保険適応3割負担の場合)になります。以後1か月ごとの通院と舌下免疫療法のお薬代で2,500～3,000円程度(保険適応3割負担の場合)になります。

また、治療開始前の検査や1年に1回程度の検査が必要となり、その際にも5,000円程度(保険適応3割負担の場合)の検査費負担がかかります。

なお、医療受給券のある方は、受給券内の負担額で治療が可能です。

舌下免疫療法を行っていてもスギ花粉が飛散する時期に症状が出る可能性があります。その際には抗ヒスタミン薬など症状を抑えるお薬代などが必要になります。しかし、舌下免疫療法を行うことにより、スギ花粉飛散期の症状が軽くなれば、これまでよりも症状を抑えるお薬の量が減る可能性もあります。

## どのような方にお勧め？

スギ花粉症やダニアレルギーでお悩みの方には、皆さんにお勧めですが、特に下記のような方にお勧めしています。

- アレルギーの症状を少しでも良くして、お薬を減らしたい。
- 抗ヒスタミン薬による眠気など、お薬の副作用がある。
- まだ若いので、これからずっと毎年スギ花粉症やダニアレルギーに悩むのか考えると心配。
- 数年以内に妊娠の希望や予定はないが、将来妊娠した際にお薬が使えないのが不安。
- 高校・大学などの受験期がスギ花粉症と重なるので、少しでも良くしておきたい。

## もう一度ご確認ください

- 1カ月に1回の通院が必要です(治療開始直後の最低数回は1~2週毎)。通えますか？
- 毎日舌下投与します。治療期間も年単位です。根気よく治療が出来ますか？
- 根治する方もいますが、効果のない方もいます。全員が根治する治療でないことを理解していますか？
- スギ花粉症の舌下免疫療法の治療開始時期は、6月から11月中旬までです。
- 舌下の前後2時間ほどは激しい運動・入浴・飲酒が禁止です。
- 小児の方は舌下免疫療法を行うにあたり保護者の方の協力・管理が不可欠です。

ご自身、ご家族内でよくご検討の上、外来を受診して下さい。

「もう一度ご確認ください」を読んでいて疑問点や相談したいことがある場合、また舌下免疫療法を迷っている場合も、一度、外来を受診して下さい。

「もう一度ご確認ください」を読んで、現時点のご自身のライフスタイルでは治療開始することが困難とお感じになる方は、今は治療開始のタイミングではないのかも知れません。またいつか、そろそろ治療が出来るかも知れないと思った時に、いらっしゃって下さい。いつでもお待ちしております。